関宮学園

令和４年度
-最終号-
発行 3/24

卒業証書授与式　３／８

３年ぶりに在校生が参加する卒業式となりました。岡あゆ美さんが送ることばを、西谷泰地さんが別れのことばを述べました。真剣な表情で卒業証書を受け取り、晴れ晴れとした顔で退場していく卒業生の姿に感動しました。卒業生の今後の活躍を期待しています。

修了証書授与式　３／２３

６年間の前期課程を修了した６年生に修了証書を渡しました。関宮学園は義務教育学校として、後残り３年間ありますが、１つの大きな区切りとなります。前期課程のリーダーとして頑張ってきた６年生の子どもたち、４月からは制服に身を包み、後期課程の生徒として、大きく成長してくれることを期待しています。

自分の気持ちにぴったりくる言葉

朝の連続テレビ小説（朝ドラ）「舞いあがれ」。ヒロイン岩倉舞（福原遥）の夫、梅津貴司（赤楚衛二）は古本屋「デラシネ」の店主です。店に、広田大樹（中須翔真）と根岸陽菜（徳網まゆ）がよく遊びに来ていました。

中学生になって久しぶりに店にやってきた陽菜が、分厚い国語辞典に目を通しながら、「言葉はこんなにいらんくない。中学校入ってわかってんけど、みんなに合わせて『やばい』『かわいい』『キモい』とだけ言ってたらやっていけんねん。」と貴司に話します。そして、「大ちゃんのスケッチブック、クラスの子が見つけてもうて、みんな『キモい』と言い始めて、私も言ってしもた。」と打ち明けます。大樹に会いたくないからと帰ろうとする陽菜に、貴司は「言葉がいっぱいあんのはな、自分の気持ちにぴったりくる言葉を見つけるためやで。陽菜ちゃんの気持ちにぴったり合う言葉はどっちやろう。『あいたくないんか』『合わせる顔がないんか』」と問いかけます。

その日は返答せずに帰った陽菜でしたが、後日、大樹が店に来ている時に来店します。店の奥に上がった陽菜は、裏庭のテーブルで絵を描く大樹に「大ちゃん、ごめんな。」と謝り、「大ちゃんのこと、ホンマはキモいなんて思ったことない。これからも思わへん。」と伝えます。大樹は、スケッチブックに向かって絵を描き続けながら、「もう、ええよ。変わっても、ええと思うで。けど、ありがとう。」と、陽菜に語りかけます。

「ちゃんと謝れてよかった。」「仲直りできてよかった。」「変わってもええと思うでという大ちゃんの言葉に陽菜ちゃん救われた。」と思ったシーンでした。

「自分の気持ちにぴったりくる言葉」が見つかることで、自分の気持ちに気づくことってありますね。

関宮学園 HP　http://yabuboard.ed.jp/sekinomiyagakuen/